

学校教育目標：心身ともに健康で、個性豊かな実践力のある子どもの育成

明野小学校学校だより

あけの

伊勢市立明野小学校

令和3年11月4日

発行人 岡村 昭

後期が始まり、3週間がすぎました

10/11（月）に後期始業式を行い、早くも3週間がすぎました。この間、修学旅行、児童会役員選挙、就学時健康診断、各学年での研究授業等々、様々な行事が行われました。幸い新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が少数で推移していることで、引き続き感染症対策を取りながらも、学校生活の中身を少しずつ通常に戻しながら、計画した取り組みをすすめていきたいと考えています。

始業式では、「前期は、一つ前の学年っぽいところが残っていても良かったけど、後期からは次の学年らしいところを少しずつ見せていきましょう。」「後期は、今の学年で身につけなければならないことをしっかりと身に付ける期間です。また、次の学年への準備をする期間でもあります。どの学年も次の学年を意識して、1日1日を大切に、今自分にできることに集中して取り組んでほしいと思います。」と話しました。実りの秋からその深まりとともに、「できるようになりたいこと」や「できるようになりなさいと言われていること」が、一つでも多く実を結ぶように頑張してほしいと思います。



児童会役員選挙

10/20に、後期児童会役員選挙が行われ、5名の新しい児童会役員が選出されました。それぞれ、「元気で楽しい学校になるように頑張りたい」「あいさつで学校を明るく元気にしたい」「みんなが楽しめる行事を考えたい」等の考えを持っています。依然として、コロナ感染防止の制限はある中ですが、知恵を出し合い工夫することで、自分たちの考えを一つずつ実行して欲しいです。



学校歯科保健衛生指導事業



伊勢市の学校歯科保健衛生指導事業の委託を受け、5年生が学校医の森先生を招き、歯科保健指導を受けました。内容は主に歯肉炎予防と歯磨き指導でした。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実技指導は行いませんでしたが、プレゼン資料を見せていただきながら、説明を聞くことができました。歯肉炎は痛みが無いので自分で鏡を見てチェックすること、きちんと歯磨きをすれば改善できること等を教えていただきました。歯ブラシや歯磨きもいただきましたので、すぐに実践してほしいです。この指導は、11月に2年生でも行う予定です。

令和3年度 修学旅行

10/14(木)～15(金)と6年生が東紀州方面に修学旅行に行きました。とてもいい天気となり、日差しがきつくてとても暑かったのですが、傘を使う心配もなく、予定通りに見学や体験ができました。昨年の伊賀方面に続いて、今年も修学旅行としては初めて訪れる場所となり、鬼ヶ城、花の窟神社、七里御浜、間伐材を利用した時計作り、花火土講話と貯金箱作り、ウミガメ公園、くじらの博物館、オルカのオカリナ絵付け、那智の滝と、たくさんのお見学や体験活動を行いました。その様子は、学校ホームページトップピクスに掲載しましたので、ご覧ください。6年生には、旅行のはじめに、「修学旅行は『学ぶ』旅行です。」と話をしました。いろいろな場所を見学して新知識を得ることも「学び」ですが、2日間行動を共にした学級・学年の友達どうしで、助けたり助けられたり、お互いに様々な関りをもったことも大事な「学び」だと思います。お世話になった方々への感謝の気持ちとともにこの経験を大事な思い出にしてほしいなと思います。



食をテーマにした授業



1年生

生活科の授業で、食育をテーマに「きょうしょく だいすき!」の授業を行いました。入学して小学校の給食を食べることになり、給食がどうやって作られているのかを探る「給食室たんけん」に始まり、給食を準備するための設備や道具等について学んでいきました。写真は、調理士さんの服装について学習しているところです。給食室から調理士さんを招いて、どんな服装か、身に付けるところを実際に見せていただきました。美味しく安心・安全な給食づくりのために、いろいろなことに気をつけて作業していただいていることが分かりました。



5年生

総合的な学習の時間の授業で、食育をテーマに「農産物の生産者の工夫や農業に対する思いを知ろう」の授業を行いました。カボチャの観察や受粉体験をしながら、普段からお世話になっているふれあい畑と学級園との「育ちの違い」を比べることで、生産者がより良い作物を育てるために様々な工夫や努力をしていることを学んでいくという授業です。コロナ感染症対策で、生産者の方はリモートでの授業参加となりましたが、いくつかの疑問に答えていただきながら、学習を進めていくことができました。

